

国際交流員がモンゴルを紹介！

連載

ジャルガルの

# ほのぼの日記

第50回

ハワリンバヤルと  
モンゴル留学生



皆さん、サエンバエノー？  
新緑の輝く季節となりましたが、  
皆さん、ゴールデンウィークはどん  
なご予定ですか。

私は子どもたちと葛城山をハイキ  
ングしたり、伊豆半島ジオパーク  
ミュージアム「ジオリア」や富士山  
世界遺産センターなど地元でプチ旅  
を計画しています。そして5月4日  
(水)と5日(木)の2日間、東京都  
練馬区光が丘公園でハワリンバヤル  
が久しぶりに開催されるので行つて  
みようと思っています。

「ハワリンバヤル」とは、モンゴ  
ル語で「春祭り」という意味で、モ  
ンゴル国からの留学生が実施・運営  
する日本における最大級のモンゴル  
の祭りです。モンゴルの文化、芸術  
を紹介し、日本とモンゴルの交流を  
図るために1998年から毎年開催

しています。今年は、日本モンゴル  
外交関係樹立50周年と在日モンゴル  
留学生会設立25年ということもあり  
とても楽しみです。

1972年、日本とモンゴルの外  
交関係樹立後、モンゴルは日本政府  
による国費留学生制度の対象国とな  
りました。日本とは120年以上の  
留学生交流の歴史があり、国費によ  
る外国人留学生招致は1954年に  
開始されたそうです。

モンゴルからは、1974年に結  
ばれた文化交流取り決めに基づき、  
1976年に最初の留学生が来日し  
ました。2019年5月時点でモン  
ゴルからの留学生数は私費などを含  
めて3,396人におよびます。出  
身国・地域別在籍者数では11位で、  
人口1万人あたり10・15人が日本  
に留学しており、日本への留学生の

数は世界トップレベルです。国費留  
学生制度を利用し留学を希望する高校  
生や、私費でも日本で教育を受けた  
若者も少なくありません。最近では、  
中学校・高校からも交換留学生として  
短期、長期にわたって勉強できる機会  
が増えています。

伊豆の国市は、モンゴル国柔道ナ  
ショナルチームのホストタウンとし  
て、東京2020オリンピック・パ  
ラリンピック競技大会までモンゴル  
国柔道選手をサポートし、応援して  
きました。スポーツを通じた国際  
交流のご縁で、4月からモンゴル国  
柔道アカデミーの高校生2人が加藤  
学園高等学校(沼津市)に入学しま  
した。柔道発祥の国で監督の指導の  
下、先輩や仲間たちと柔道も日本語  
も勉強し、日本文化に触れるとても  
貴重な体験になると思います。彼  
らのこれからの成長がとても楽し  
みです。

それでは、バヤルタエ。  
☎ 055(948)1412  
☎ 055(948)1412



▲留学生のガルバダラフさん(左)・  
ジャンガラライさん(右)

## モンゴルクイズ(答え)

モンゴルの世界遺産は次のうちどれでしょ  
うか？

- ①オルホン渓谷
- ②アルタイ山脈の岩絵群
- ③ウヴス・ヌール盆地
- ④イエローストーン国立公園



正解は、①②③です。  
皆さん分かりましたか？

あなたも狙われるかも！悪質商法に「用心」

## 「モデル・タレント契約商法」

(文と絵) 司法書士 山田茂樹

「モデルにならないか?」、「テレビに出演できる」などと声をかけられ、そのためには、レッスンを受講する必要があると言われたり、所属契約をする必要があるなどと言われて高額な契約を結ばされる、いわゆる「モデル・タレント商法」の相談が、近年、若年者を中心として増加しているようです。

モデル・タレント契約商法は、古くから存在し、以前は都内などの路上でスカウトを装う人から声をかけられる事案が多くみられました。

近年は、インターネットの検索やSNSを通じてトラブルに巻き込まれる事案



©Shigeki Yamada

伊豆市役所(伊豆市小立野)  
相談日:毎週火~木曜日、8:30~17:15  
(12:00~13:00、年末年始・祝日は除く)  
☎ 伊豆市消費生活センター ☎ 0558-72-9858

【消費生活相談】伊豆の国市役所伊豆長岡庁舎  
相談日:毎週月~金曜日、9:00~16:00  
(12:00~13:00、年末年始・祝日は除く)  
※相談員による相談は月・水・金曜日  
☎ 伊豆の国市消費生活センター ☎ 055-948-2901

市民の「チカラ」を紹介します!

## ~市民活動のススメ~【第7回】

☎ 協働まちづくり課  
☎ 055-948-1412

### 点と点でつなく 本の架け橋

### 点訳グループ いずかたつむり

代表 川口千賀子 ☎ 0558-76-0477

#### 活動のきっかけは?

地域の視覚障がいのある人にローカル色豊かな点字本を届けたいという思いからグループを発足し、37年目を迎えました。

感想文や手紙が入っていると、とても嬉しく感じます。点訳する本を選ぶ楽しみ、仲間と協力して一冊の本を点訳や制作する喜びを感じながら活動しています。

#### どんなことを点訳するの?

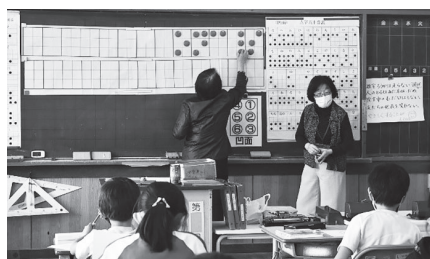
点訳する内容は、毎月の機関紙の他に歴史やミステリーなどバラエティに富み、最近の話題作など読者のリクエストも受けています。視覚障がいのある人の役に立ちたいと思い、「文字」を正しく理解してもらうために、一字一句大切にしながら点訳しています。点訳だけではなく、市内の小中学校での点字教室など、視覚障がいのある人への理解を深めるための活動も行っています。

#### どんなやりがいがありますか?

点訳本を読者に回覧し、返却された本とともに

#### 読者へのメッセージ

活動を知ってもらい、若い人が点字に興味を持つきっかけとなり、仲間になってくれると嬉しいです。



▲点字教室の様子